

- 調査目的  
高知県内のケアを担う子どもの状況を把握するとともに、調査を通じてヤングケアラーの定義や相談窓口などを周知し、中高生における認知度の向上を図る。
- 調査期間  
令和4年6月13日 ～ 令和4年7月13日
- 調査方法  
インターネットによる任意調査（学校において、調査依頼のチラシを全生徒に配付し、チラシに掲載したQRコードからWEBにアクセスして回答）
- 調査対象  
高知県内の中学校及び高等学校に在籍する生徒  
※中学校のうち4校は義務教育学校の7年生から9年生  
※特別支援学校は除く

## ● 調査結果

### 1 回答数及び回答率

	対象者数	回答数	回答率
全中高生	33,792人	3,218人	9.5%
中学生	16,598人	1,729人	10.4%
高校生	17,194人	1,489人	8.7%

### 2 お世話している家族の有無

	いる	いない	無回答
回答数	492人	2,545人	181人
全体での割合	15.3%	79.1%	5.6%

※「お世話」とは本来、大人がすると考えられる食事のしたく、洗濯などの家事や家族のお世話などを日常的にすること

### 3 「2」でいると回答した人のうち、やりたいけどできていないことの有無

	ある	特になし	無回答
回答数	55人	131人	306人
全体での割合	1.7%	4.1%	9.5%
492人での割合	11.2%	26.6%	62.2%

### 4 「3」であると回答した人のうち

#### ■ 世話をしている家族（複数回答有）

	父母	祖父母	きょうだい	その他	無回答
回答数	28人	8人	27人	8人	0人
割合	50.9%	14.6%	49.1%	14.6%	—

#### ■ 世話をを行う頻度

	ほぼ毎日	週に3~5日	週に1~2日	1ヶ月に数日	その他	無回答
回答数	24人	13人	7人	5人	3人	3人
割合	43.6%	23.6%	12.7%	9.1%	5.5%	5.5%

#### ■ 相談したことの有無

	ある	ない
回答数	18人	37人
割合	32.7%	67.3%

#### ■ 学校への通学状況

	よくする	たまにする	ほとんどない	まったくない	無回答
欠席	3人	9人	14人	28人	1人
割合	5.5%	16.4%	25.5%	50.9%	1.8%
参考 全体の状況	3.7%	8.9%	28.3%	57.6%	1.5%

## ● 調査結果（つづき）

### 4 相談したことによる状況の変化（n=18）

	悩みが解決した	解決まではいかなかったが、周りのサポートが増えた	解決まではいかなかったが、気持ちが軽くなった	何も変わらなかった	無回答
回答数	3人	6人	8人	2人	0人
全体での割合	16.7%	33.3%	44.4%	11.1%	—

### 5 相談をしていない理由（n=37）

	誰に相談したらよいかわからない	誰かに相談したいが、相談できる人が身近にいない	誰かに相談したいが、家族のことのため話にくい	誰かに相談したいが、家族から他人に相談しないように言われている	誰かに相談したいが、家族に対していやな思いを持たれたくない	相談したいと思わない	相談しても解決につながらないと思わない	その他	無回答
回答数	5人	3人	10人	3人	6人	18人	11人	5人	4人
全体での割合	13.5%	8.1%	27.0%	8.1%	16.2%	48.6%	29.7%	13.5%	10.8%

### 6 ヤングケアラーの認知度（n=3,218）

	「聞いたことがあり、内容も知っている」	聞いたことがあるが、よく知らない	聞いたことはない	無回答
回答数	720人	520人	1,572人	406人
全体での割合	22.4%	16.2%	48.9%	12.6%